

大島出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 大島出張所

【定点把握疾患】 2024年 第15週（4月8日～4月14日）

大島・・・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎5件
突発性発しん1件
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)3件
利島・・・なし
新島・・・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)12件
式根島・・・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)1件
神津島・・・なし

大島出張所管内ではA型溶血性レンサ球菌咽頭炎が発生しています。ご注意ください。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター第14週（4月1日～4月7日）

・インフルエンザの定点当たり報告数は、保健所管内人口の合計で東京都全体の30%以下となり、注意報基準を下回りました。

今週のコメント

《流行性耳下腺炎 Mumps》(東京都感染症情報センターより抜粋)

流行性耳下腺炎(おたふく風邪)は、特にかかりやすい季節がないといわれます。

大島出張所管内は、直近では3月に発生しています。



○流行性耳下腺炎とは

・流行性耳下腺炎とは、ムンプスウイルスによる感染症で、一般には「おたふく風邪」として知られています。3～6歳の小児に多い感染症ですが、他の年齢でも感染することがあります。

○感染経路

・患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染があります。

○症状

・潜伏期間は2～3週間程度で、突然の発熱、両側、あるいは片側の耳の下の腫れと痛みが起こります。通常1～2週間で軽快します。

まれに無菌性髄膜炎・難聴・精巣炎などの合併症を起こすことがあります。

○治療

・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。

○予防のポイント

・有効な予防方法は予防接種で、任意予防接種として1歳以上で接種することができます。

○さらに詳しい情報は、右からご確認ください



NIID 国立感染症研究所
流行性耳下腺炎
(ムンプス、おたふくかぜ)

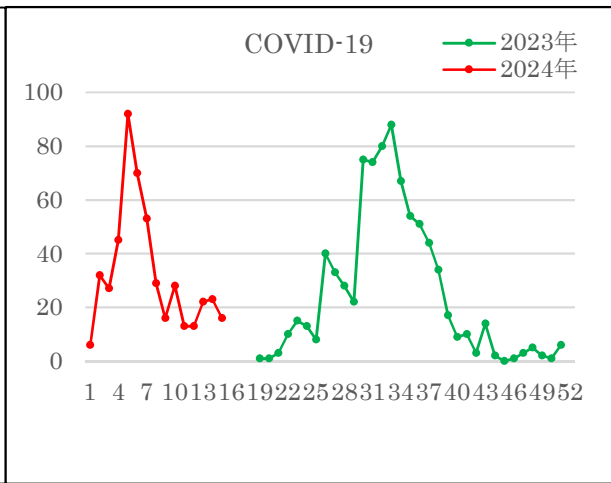
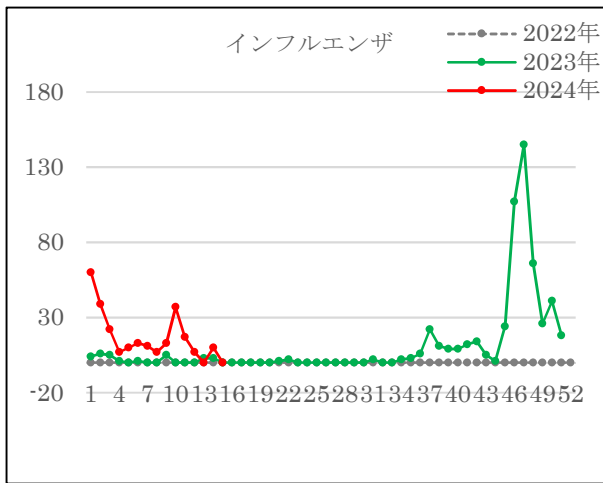
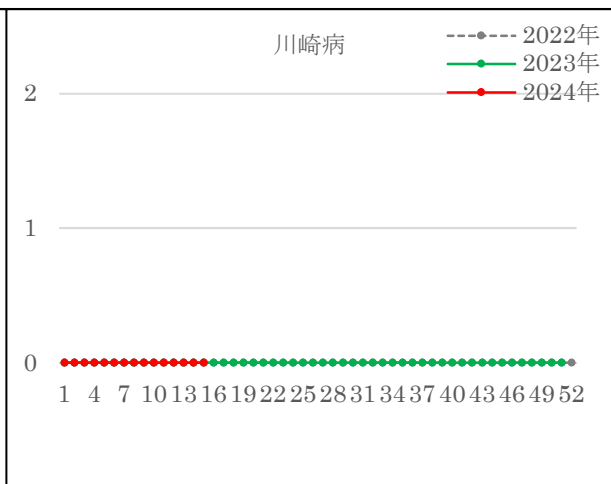
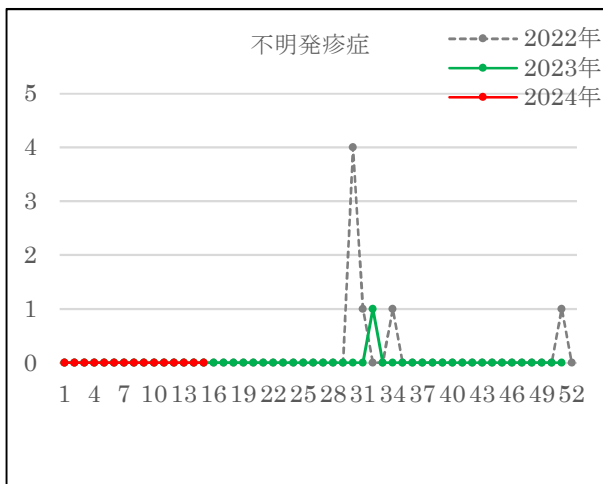
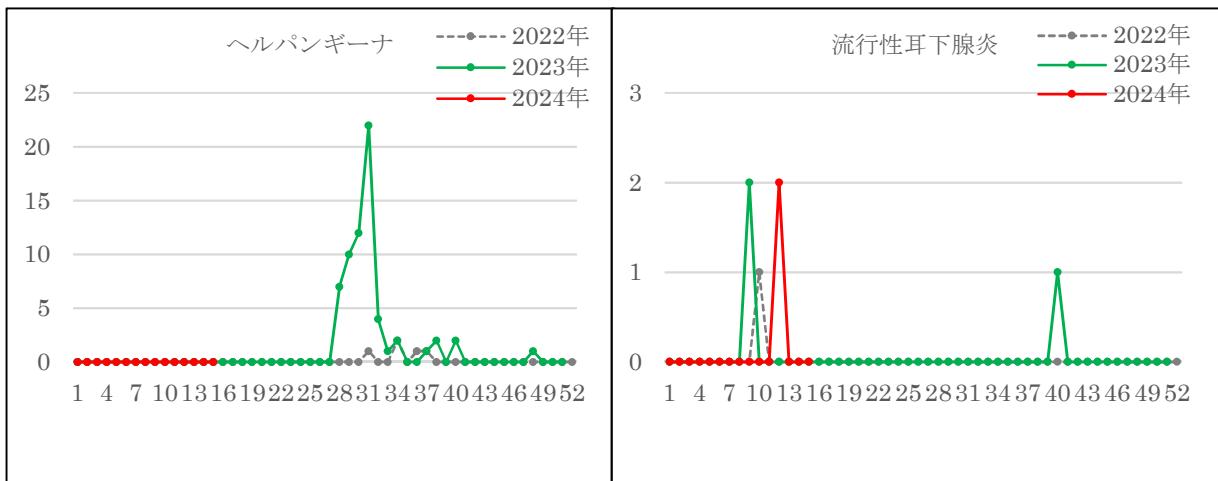
島しょ保健所では11島の医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※大島出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○大島出張所管内⇒島しょ保健所大島出張所 <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tousyo/oshima/index.html>

○東京都(全域)⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>

○全国⇒国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握・分析し情報提供をすることにより、感染症発生および、まん延を防止することにあります。

大島では、大島医療センターが小児科定点・疑似症定点に指定されており、医師の診断に基づき集計しています。また、大島出張所管内では、協力届出医療機関として利島村診療所・新島村本村診療所・新島村式根島診療所・神津島村診療所の医師より報告を受けた人数を計上しています。

<編集・発行>

東京都島しょ保健所大島出張所 電話:04992-2-1436 FAX:04992-2-1740
 新島支所 電話:04992-5-1600 FAX:04992-5-1649
 神津島支所 電話:04992-8-0880 FAX:04992-8-0882